

たけやの

2024. 7. 25

自主学童保育さまのほくらぶ

2024 清津峡キャンプ楽しかったです!! (7/13(土)~7/15(月))

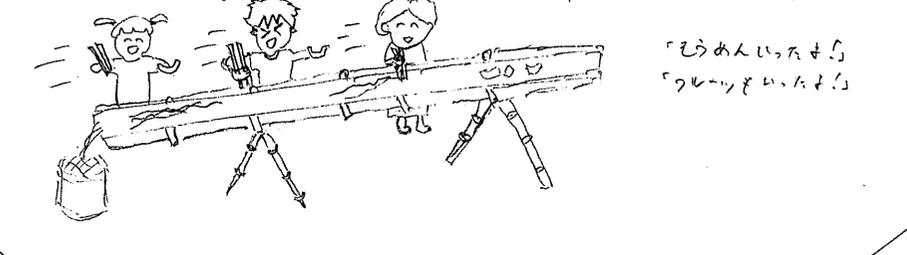
天気が心配されていましたが、雨も少し、暑すぎることもなく、川遊びも2回入れました。自然豊かな清津峡ならではのダイナミックな体験が出来ました。こどもたちが日常では経験できないことをお父さん、お母さん、OBOGさんたちと力を合わせて、最高のキャンプとつくること出来ました！お父さん、お疲れ様でした!!

川遊び こどもたちが心から楽しんでいる川遊び。お父さんたちが、川の両側に立ち見守り、てくれている中をこどもたちが、浮輪やボートにのって何度も何度も流れていきます。初めての1年生、何回目なの? 「何回目」と笑顔で並びます。カジカ(3cm程)を、た男の子の前に5人の順番付の列。「ヤッター!」「おいしい!」「身の部分いいな」など1人あたり数mmをわりあて、とても嬉々とした様子。オタマジャクシやカエルを捕る人々も、川をあがる時間になると「もっと遊びたい!」の声が、来年もまた遊ぼうね。

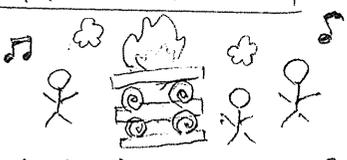


をあげようとする。『他の子かくれた』『えうか、よかったですね』とやさしく接していました。さすが高学年、やさしいね!

流しそらめん お父さんたちが竹を切り、箒を取ってつくってくれた台。そうめんやフルーツが流れてくると、初参加の『そうめん大統領!』『フルーツ大統領』と言いはからはしを入れて、見事にゲットしていきます。待ちに待っている高学年がよばれると獲物を狩る獣のように一斉にはしとお皿を受けとり、台の横で構えます。流れてくると『はしはナメに入れる』『へりをつかってとる』など、獲物を逃さない熟練の技。すこいのこどもでした。



キャンプファイヤー 清津峡だからこ意味のあるとして大きなファイヤー。その中で、練習を重ねてきたスタンプをこどもたちは20人ぐらいの人たちを見ていの中で堂々と、そして何より楽しみなから踊りました。「かわいい」「OOキレキレだね」「まわるの速っ!」「カッコイイ」など、たくさん人の歓声があかると、こどもたちは、誇らしげな笑顔。そして、お互いをたたえあっている様子。自分もまわりの仲間も努力していることを知っているからこそのコトに、お互いの関係がさらに一歩深まり、とてもスリッパな時間。こどもな時間やると続いて欲しいと心から思いました。うらへ続く。



ナイトハイク

自分たちで紐をかいたランポンをグループごとにまとめて出発。まもなく「キャー」という声、待っているグループは、さらにドキドキしてきます。行、途中で泣きながら帰ってきた子は、「アムもらえながら、兵...」それを聞いた4年生男子「オレたちもらってくるよ」、その後、戻ってきたから、泣いた子にアム



保護者の出し物は「マイムマイム」、お父さんもお母さんもOBOG
さんも、みんな笑顔でノリノリでした。こどもたちも一緒にノリノリで
踊り、とても大きな輪が出来ました。そして、お待たせのズンバ!
ズンバ族が登場すると、「待ってました〜!」「来た〜」と、熱烈な
歓迎。全員で踊りを伝授してもらって、「ハイズカズンバズンバ〜」
と、全力で踊りました。来年もズンバ族に会えるように、さあこの
毎日の生活を積み重ねていこうね!!

山登り



大きい荷物を背負い、3年生以上は、さらにバケツ、
鍋、ザルなどを手荷物、たり、肩にかけたりしながら、
一歩一歩一歩一歩登ります。^(1年生)「あと、どのくらい?」
^(上級生)「大人はね、もうすぐだ」「頂上につくと、お父さん、
お母さんに会えて、アクエリアスもうえうよ」など、上級生たちは

1年生を励まします。1年生たちは、その励ましを聞きながら、一歩
ずつ、背中に大きいリュックを背負い、登っていきました。最後、
道路に着く寸前、力持のOBOGさんリュックを持ってもらって、みんな
いきましたか。大人は、登りまわって待っていたお父さんお母さんと
抱き合っていました。本当によく大人はね!!

キャンプ後の様子

「キャンプの感想文を書いていると、キャンプ
で歌った「エール」を7、8人で歌ったり、スタンツの踊りを踊り始めたり、
「スタンツの衣装、早く欲しい」と、指導員をせかしたり、7月11日の時
にした、宇宙連合探検隊のフリを、お互い真似したり、キャンプが
日常に反映していて、みんなとても元気いっばいで、楽しい毎日です!